

業務名（業務コード）			ULD引取情報登録（UDA01）										コード	入力条件／形式				
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰1	繰2	条件										
								登録		訂正		取消し						
1		入力共通項目		an	398			M				M						
2		処理区分	KBN	an	1			X				M						スペース：登録 C：訂正 D：取消し
3		到着便名1	FL1	an	6			M				M						(1) 航空会社コード+フライト・ナンバーを入力 (2) フライト・ナンバーについては、3桁又は4桁の入力が可能。4桁目については、英・数記号が可、それ以外は数字とする。
4		到着便名2	FL2	an	5			M				M						便名の日付部を以下の形式で入力 DDMMYY
5		到着空港	KCD	an	3													IATA空港コード (1) 入力者に対する到着空港がシステムに登録されていない場合に入力 (2) 入力者に対する到着空港がシステムに登録されている場合は入力不可 (3) 到着空港を省略した場合は、入力者から変換した到着空港を取得する (4) システム内の到着空港であること
6		MAWB番号	MAB	an	20			M				M						MAWB番号を11桁以内で入力
7		航空会社	ALN	an	5			M				C						利用者コード 訂正の場合で、当該項目を変更しない場合は、入力不要
8		取卸保税蔵置場	HWH	an	5			M				C						保税地域コード (1) 入力された到着空港内の空港保税蔵置場であること (2) 訂正の場合で、当該項目を変更しない場合は、入力不要
9		保税運送申告自動起動表示	AOT	an	1							C						(1) 登録または訂正の場合で、ULDインタクト貨物に対して保税運送申告を自動起動する旨を登録する場合は、「Y」を入力 (2) 訂正の場合で、ULDインタクト貨物に対して保税運送申告を自動起動する旨を取り消す場合は、「X」を入力 (3) 訂正の場合で、当該項目を変更しない場合は、入力不要
10		申告先税関官署	CHC	an	2							C						税関官署コード (1) 登録または訂正の場合で、保税運送申告自動起動表示に「Y」が入力され、かつ申告先税関官署と取卸保税蔵置場の管轄税関官署が異なる場合に入力 (2) 包括保税運送承認番号が入力された場合は、入力不可 (3) 保税運送申告自動起動表示に「X」が入力された場合は、入力不要
11		包括保税運送承認番号	HKT	an	11							C						(1) 登録または訂正の場合で、保税運送申告自動起動表示に「Y」が入力され、かつ包括保税運送承認に係る個別運送情報登録の場合に入力 (2) 保税運送申告自動起動表示に「X」が入力された場合は、入力不要
12		運送先保税蔵置場	USA	an	5			M				C						保税地域コード (1) 取卸保税蔵置場と同一のコードは入力不可 (2) システム内の保税蔵置場を入力 (3) 訂正の場合で、当該項目を変更しない場合は、入力不要
13		ULD台数	IPC	n	6			M				C						訂正の場合で、当該項目を変更しない場合は、入力不要
14		ULDインタクト貨物重量	IWT	n	8			M				M						(1) 整数部6桁、小数部1桁 (2) 訂正の場合で、当該項目を変更しない場合は、入力不要
15		重量単位コード	IJT	an	3			M					M					重量単位コード KGM：キログラム LBR：ポンド
16		バラ貨物個数	BPC	n	6			M				C						訂正の場合で、当該項目を変更しない場合は、入力不要
17		バラ貨物重量	BWT	n	8			M					C					(1) 整数部6桁、小数部1桁 (2) 訂正の場合で、当該項目を変更しない場合は、入力不要 (3) バラ貨物個数が0個の場合は、入力不可
18		重量単位コード	BJT	an	3			M					M					重量単位コード KGM：キログラム LBR：ポンド